



困難を抱える若者への就労支援を中心とするソーシャルファームを理念とし、農業の担い手育成事業を行う。また社会的弱者や生きづらさを抱えている若者に向けた中間的就労支援や農村留学プログラムを通じて地域コミュニティの醸成や自立支援を行っている。

基本情報

- 所在地：宮城県石巻市
- 団体名：
一般社団法人 イシノマキ・ファーム
- 選定表彰：
 - ・令和元年：第3回チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞入賞
 - ・令和2年：「新しい東北」復興・創成顕彰
- 主力商品：クラフトビール

取組の概要

- ソーシャルファームでのホップ栽培、野菜生産のほか、ビールの醸造等の活動を行っており、社会的弱者の雇用創出につなげている。
- 農業担い手センターを通じて利用者の農業就職支援も実施。
- 農福連携サポーター養成事業を実施し、持続的な障害者雇用のためのサポーターを育成。



農村留学プログラムの様子



ホップ収穫の様子



ホップ畑
(被災した荒廃農地を再生)

体制図

イシノマキ・ファーム法人本部

ソーシャルファーム
(農福連携事業)

ホップ栽培・ISHINOMAKI HOP WORKS
6次産業化事業 (社会的弱者の雇用)

農業担い手センター

取組の成果

- 就労訓練に参加する利用者が取組当初から135名に増加。
- 売上が取組当初から360万円に増加。
- 農地面積が取組当初の20aから96aに増加したほか、ハウス2棟でも栽培を開始。
- 中間的就労支援における農作業を行うことで利用者の就労意欲が向上。
- 地域農家で活動することが小規模農家の担い手不足解消につながっており、地域住民とのコミュニティが活発になることで、高齢農家の生きがいづくりにもなっている。

法人本部 ▶ 宮城県石巻市北上町女川字泉沢13番地

連絡先 ▶ TEL:0225-25-4144 E-mail : info@ishinomaki-farm.org

ウェブサイト ▶ <https://www.ishinomaki-farm.com/>

【取組のプロセス】

空き家を借りて事業準備をスタート

平成28年

きっかけ

これまでの活動を通して「農業は多様な人々に力を与えることができる」「地域住民との関わりが自信を取り戻すきっかけとなる」ことを経験する。その経験から、ソーシャルファームを理念とした農業の担い手育成事業をスタート。

地域循環型による支援事業をスタート

平成29年

地域循環型による支援事業をスタート（ソーシャルファーム草創期）

- ソーシャルファームとしてのホップ栽培、野菜の生産による就労支援、地域住民参加のコミュニティづくりを実践。
- 6次産業化の取組の一環として「ISHINOMAKI HOP WORKS」を開業。クラフトビールの醸造を開始。
- 中間的就労支援を実施。利用者が農作業を通じて就労プログラムに参加し、訓練日当を支給することで働くことに対するプラスの動機付けを行う。
- 地域農家の手伝いを行い、短期アルバイトによる就労訓練を実施。



セリ収穫作業

農業担い手センター事業、シェアハウス整備、農業就職支援を実施

平成30年

社会的弱者の自立支援を含めた農業就職支援をスタート

- 農業担い手センター、空き家を利用したシェアハウスを整備。
- 農村留学プログラムを通じて、自立生活や農業を体験。一人暮らしの練習として、一時的に地方での就農体験を行う。



サツマイモ収穫作業

農福連携サポーター育成の取組をスタート

令和2年

農福連携サポーター養成事業をスタート

- 地域農業生産者が合理的配慮のもとに適切にかつ持続的な障害者雇用に繋げることができるよう、サポーターを育成。
- 将来的には「農業版ジョブコーチ」育成につながるよう取組を継続的に実施。



地域住民との農作業風景

ISHINOMAKI HOP WORKSをスタート

令和3年

農業を通じて地域の力を活かし、誰もが共生できる社会を目指して

- あらゆる社会的弱者が、地域住民と一緒に対等の関係で働くこと、誰もが農を通じて豊かに暮らせる地域での生活をサポートしていく。
- 農業を通じた交流できる街づくり、ソーシャルファームの活動をととした地域循環型社会の構築を目指す。



収穫した野菜の加工体験

今後の展望